

# 情報セキュリティに対する組織的取組み

## ～ 自社に適した情報セキュリティ対策の検討 ～

経営者・管理者向けコース — No.2

## 導入



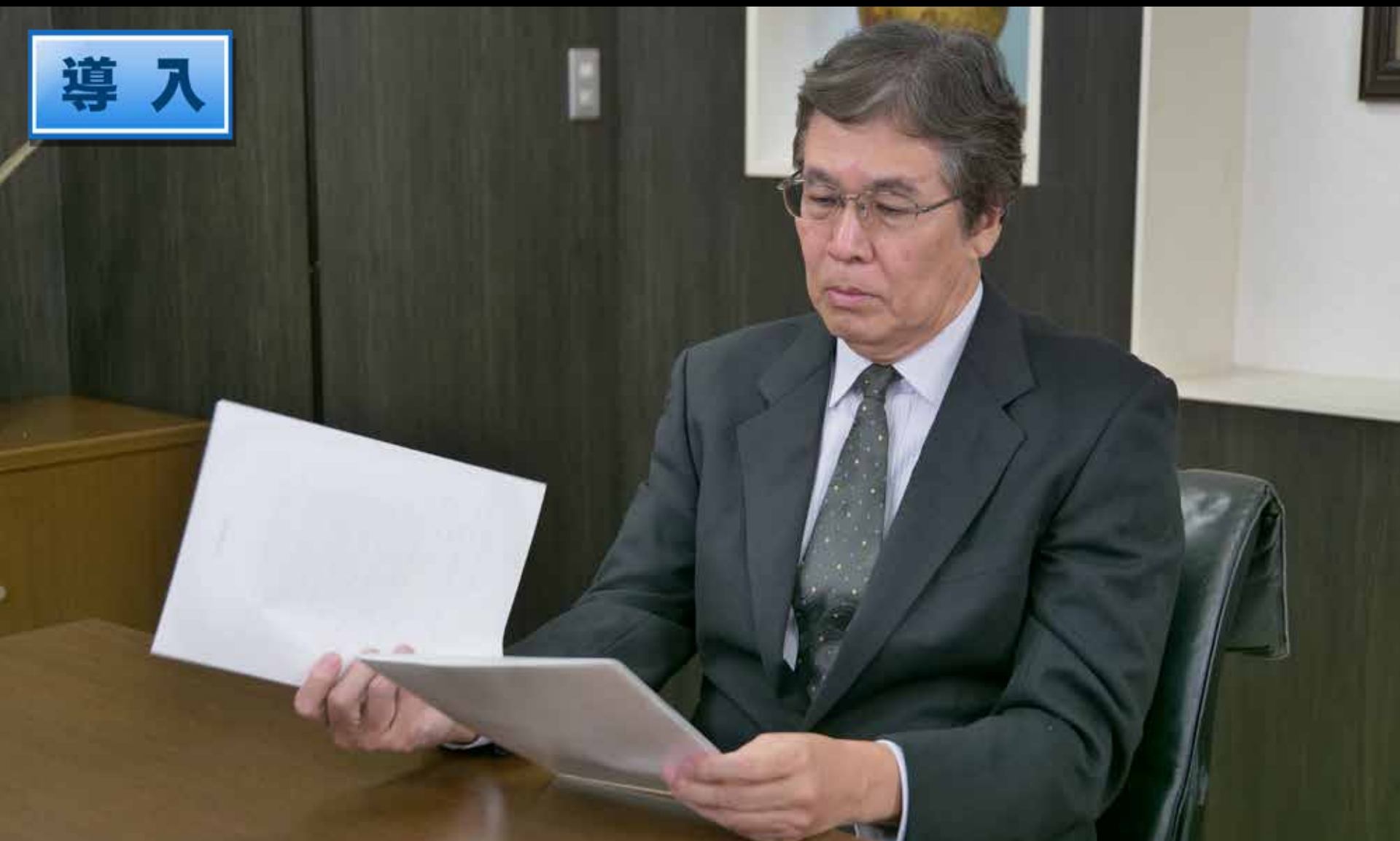
今やインターネットの利用無くしては、事業が成り立たない企業や組織は少なくないと言えます。

## 導入



そのような状況において、個人情報等の情報漏洩(ろうえい)が発生してしまったら、業種に関係なく、深刻な被害を企業や組織に及ぼすことになります。

## 導入



そのような被害が及ぶ前に、企業や組織毎に考慮すべき情報セキュリティについて検討を行ない、必要な対策の取組みを行なうことが望めます。

**事例**

田端さん、田端さん！

南雲直樹 【株式会社シックハック／社長】



事例

社長、どうされました？  
早い昼食に行かれたようでしたが。

いや知り合いと昼を一緒に食べたんだが、  
ちょっと話を聞いてくれないか。

## 事例

いや、情報漏洩(ろうえい)の事件事故って、  
相変わらず後を絶たないだろ？

『もしかしたら自分の会社でそのようなことが起こってしまうと、  
顧客や取引先企業に迷惑を掛けてしまうばかりか、  
会社が滅亡の岐路に立たされるかもしれない。』と、  
その知り合いが最近気になり出したようなんだ。

**事例**



それを聞いてたら急に自分も心配になってきてな・・・  
わが社でも情報セキュリティ対策を真剣に考えてみようかと思った訳だ。



**事例**

そうでしたか、  
いやそれはわが社にとっては良いことですよ。

それならば、この機会にわが社も  
情報セキュリティの組織的に取り組んでみては。

**事例**

情報セキュリティの組織的な取り組み？

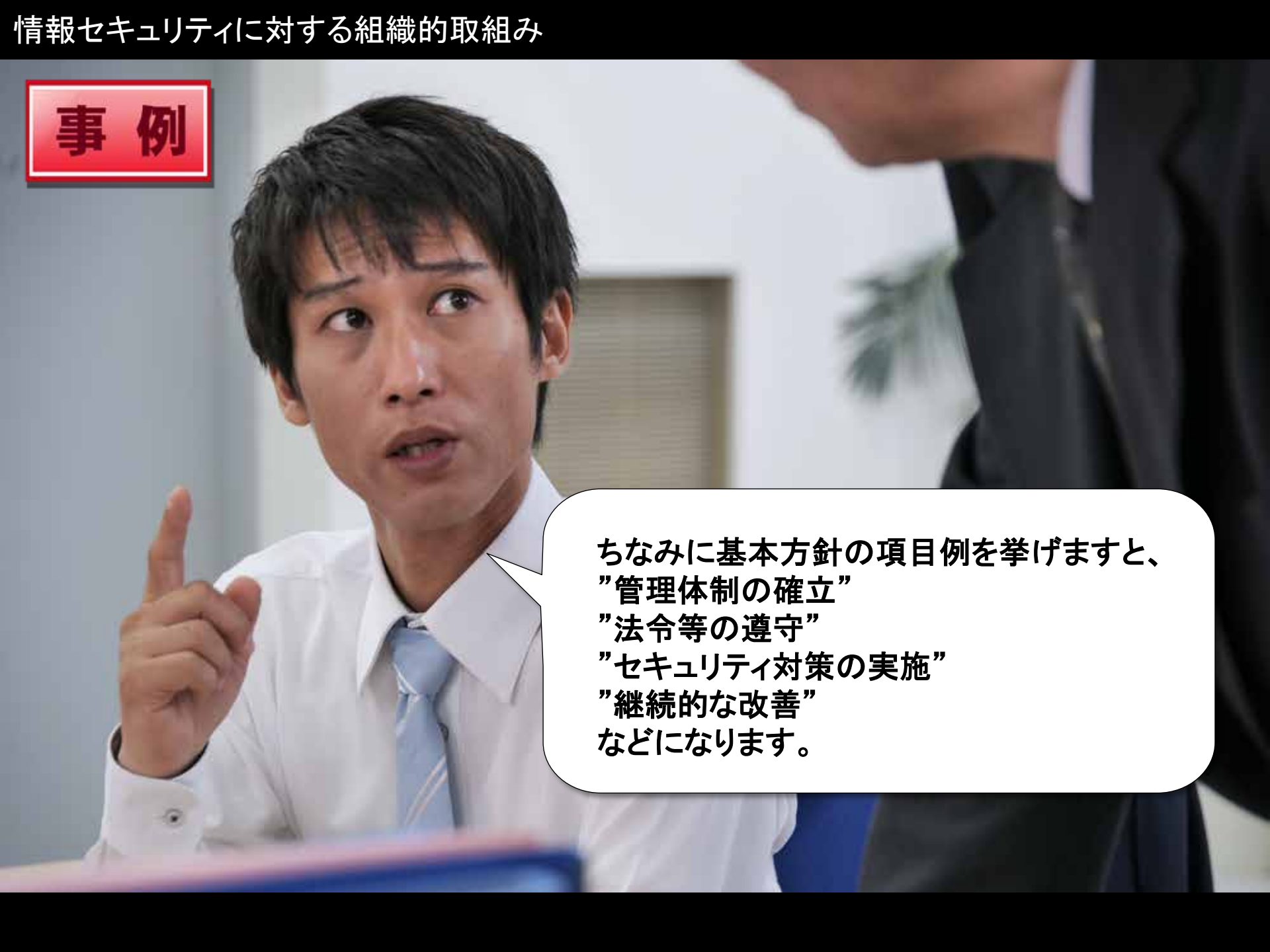


**事例**

はい、そうです。  
具体的には、わが社に適した情報セキュリティに対する基本方針を  
作ることから始まります。

**わが社の事業の特徴や、  
わが社の情報セキュリティの考え方も考慮して  
作成するべきでしょう。**

## 事例



ちなみに基本方針の項目例を挙げますと、  
”管理体制の確立”  
”法令等の遵守”  
”セキュリティ対策の実施”  
”継続的な改善”  
などになります。




## 事例

そして作成した基本方針は、社員はもとよりわが社の関係者や顧客にも周知します。

周知？  
社員はわかるが、わが社の関係者や顧客にまで知らせるものなのか？

**事例**

A man with dark hair, wearing a white dress shirt and a light blue tie, is shown from the chest up. He is looking upwards and to the right with an expressive, slightly open-mouthed look. His right hand is raised near his chest. A white speech bubble with a black outline is positioned in front of him, containing Japanese text. The background is a blurred office setting with a window and a plant.


はい、情報セキュリティに関して  
『わが社はこうして守ります』と  
関係者や顧客に対して方針を示すことで、  
わが社への信用に繋がっていきますから。

**事例**

そういうものか・・・。

インターネットで『情報セキュリティ基本方針』と検索すると、  
他社が掲載している基本方針が見られますよ。参考になると思います。

**事例**



その後は、情報セキュリティ対策がどれくらい実施されているかを把握しつつ、実施されていない場合は対策を検討していきます。



**事例**

検討し対策が決まれば、社員に実行すべき事項を周知して実施していきます。

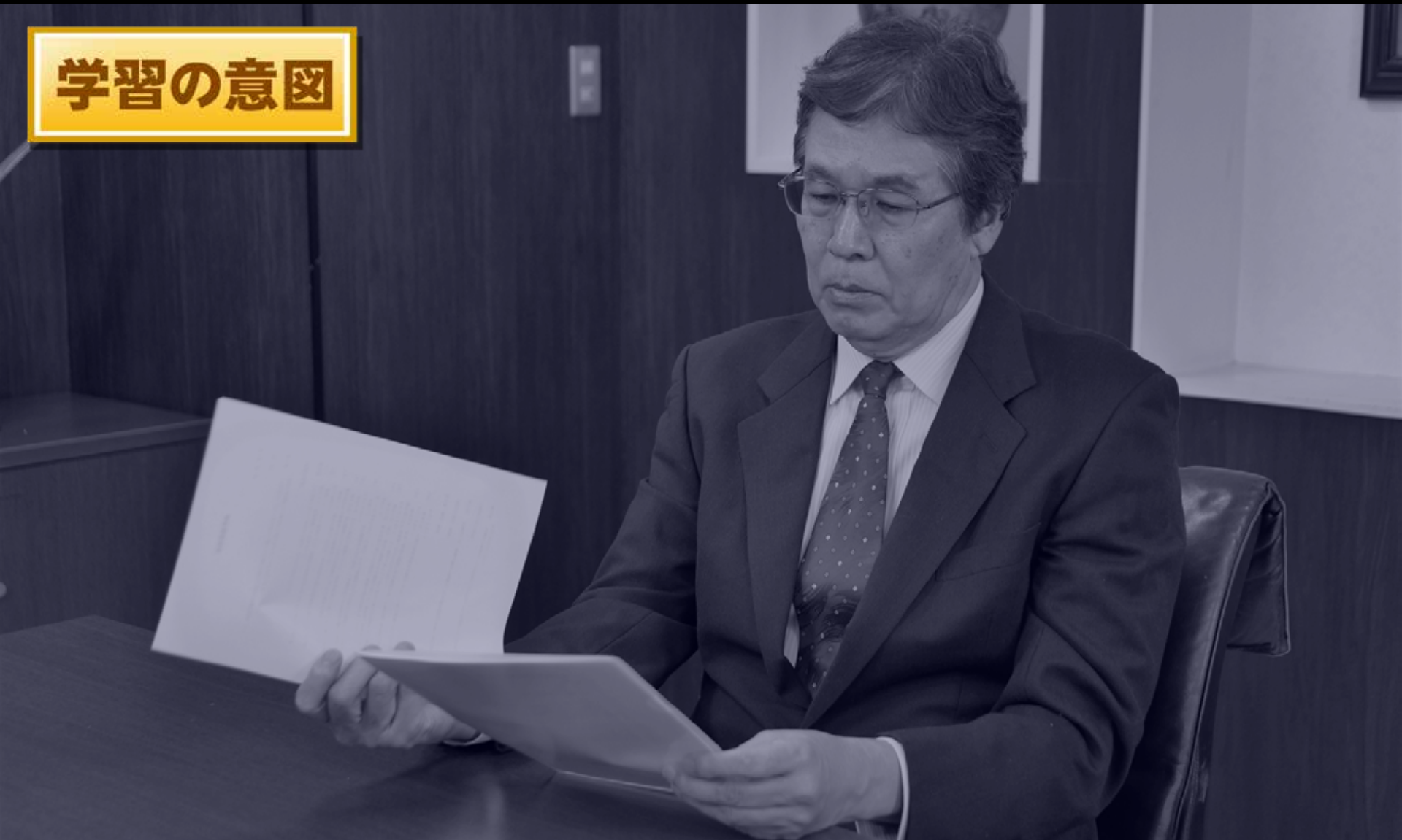
こうして、  
”実施状況の把握と検討”、”実施する対策の決定”、  
”実施対策を社員へ周知”、”必要であれば基本方針への追加と関係者等への周知”  
を繰り返していくことが、情報セキュリティ対策の理想と言えます。

**事例**

なるほど。

『言うは易く行うは難し』だが、  
個人情報に預かる者としては必要なことだな。

## 学習の意図



近年、情報漏洩(ろうえい)等のセキュリティリスクは高まっているため、適正な情報セキュリティ対策を講じなければ事業活動を円滑に進めることができない状況と言えます。



## 学習の意図

そのため、事業の特徴などを考慮したうえで経営者と連携しつつ、自社に適した情報セキュリティに対する取り組み方の検討をしていきましょう。

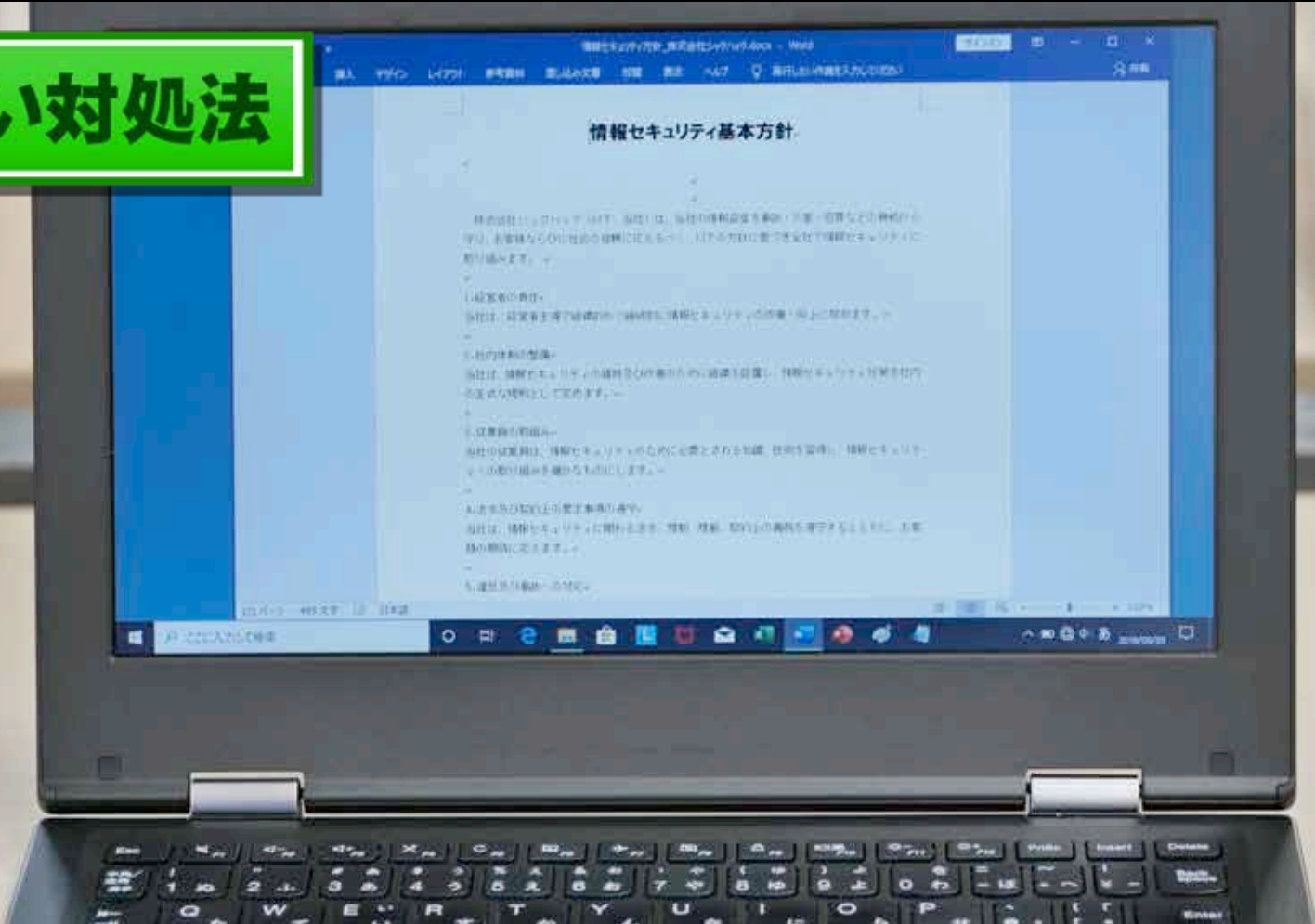


## 学習の意図

「情報セキュリティに対する組織的取組み」について、  
以下を学習しましょう。

1. 自社に適した情報セキュリティに対する取り組み方の検討

正しい対処法



取り組みの始めとして、経営者が定めた情報セキュリティに関する基本方針※を作成しましょう。基本方針は、事業の特徴や顧客の期待などを考慮したうえで経営者と連携しつつ、自社に適した基本方針を作成します。基本方針は従業員の指針であり、関係者に対して取り組みを表明するためのものなので、作成した内容は従業員や顧客などの関係者に周知しましょう。

※情報セキュリティ基本方針(サンプル)

## 正しい対処法



情報セキュリティ対策は決めたら終わりの一過性ではありません。情報セキュリティ対策がどれくらい実施できているかを把握しましょう。把握することで問題点を浮き彫りにして、次の対策への道筋にしていけます。実施状況の把握に、以下の診断ツールをお使い下さい。  
(診断ツール)5分でできる！情報セキュリティ自社診断

## 正しい対処法



問題点が確認できたら、その問題点を防止するための対策を検討しましょう。その際は、従業員の意見を聞き、職場環境や業務に適した対策を決定します。なお、対策と決定は責任者・担当者と経営者で行います。対策が決まりましたら、従業員が実行すべき事項を周知しましょう。



## 正しい対処法



このように、実施、検討、対策、周知を繰り返していくことで、情報セキュリティ対策を継続的に改善の方向に向かうことが望ましいです。

## 確認テスト 問題

### No.2 情報セキュリティに対する組織的取組み ～自社に適した情報セキュリティ対策の検討～

#### Q1

情報セキュリティに対する組織的な取り組みについて、適切でないものはどれか。

#### 選択肢

- |  |   |
|--|---|
|  | 1. 情報セキュリティに関する基本方針の作成について、特に決められた方針項目はないので、自社に適した方針で作成してもよい。 |
|  | 2. 情報セキュリティ対策がどれくらい実施できているかを把握し、実施できていない部分は直ちに対策の検討を行なう。      |
|  | 3. 情報セキュリティ対策の検討と決定はセキュリティ担当者だけで行ない、社員に実行すべき事項を周知する。          |

次のページで正解と  
解説を確認しましょう

## 確認テスト 正解と解説

### Q1

情報セキュリティに対する組織的な取り組みについて、適切でないものはどれか。

正解	選択肢
	1. 情報セキュリティに関する基本方針の作成について、特に決められた方針項目はないので、自社に適した方針で作成してもよい。
	2. 情報セキュリティ対策がどれくらい実施できているかを把握し、実施できていない部分は直ちに対策の検討を行なう。
●	3. 情報セキュリティ対策の検討と決定はセキュリティ担当者だけで行ない、社員に実行すべき事項を周知する。

### 【解説】

情報セキュリティ対策の検討と決定は、セキュリティ責任者・担当者と経営者で行ないます。